

第 45 回 交流会報告

1. 開催日時:平成 27 年 5 月 23 日(土)

13:30 ~ 18:00

2. 開催場所:横浜国立大学 理工学部食堂

3. 出席者:会員及び来賓

(総会 79 名、パネル討論会 93 名、懇親会 93 名)

4. 総会 13:30 ~ 14:10

(1) 第 45 回弘陵造船航空会総会は 13:30 から執り行われました。今回の総会運営は、事務局の指導・応援の下、総会担当年次のクラス幹事である飯島正明(昭 50 卒)、鈴木和夫(昭 50 卒)、金井健(昭 60 卒)、岩崎正城(平 7 卒)、戸田隆慶(平 17 卒)、大園拓実(平 27 卒)、渡邊輔祐太(平 27 卒)が担当しました。

(2) 開会の辞に引続き、昨年の総会以降事務局に連絡のあった 27 名の物故者の氏名を紹介し、出席者全員で黙祷を行いました。

(3) 会長挨拶(平山会長)

本日は、交流会(総会・懇親会等の総称)にご参加頂き誠にありがとうございます。今日は、総会のほか、女性陣パネル討論会・写真展示・水槽見学・ジャズ演奏・懇親会と、多くのイベントを計画したのでお楽しみ頂ければと思います。

クラス会の連合としての同窓会の一番の目的は、クラスを越えたコミュニケーションを行う事にあります。そのパワーを結集して、教室・学部・大学が活性化して社会に貢献することをサポートすることが卒業生の願いであり、誇りにつながるものと思います。

大学としては、OB・在学生・教職員全員を対象とする校友会が発足したこと、理工学部同窓会として「名教自然会」が発足したこと、4 月から鈴木前学長に代わって長谷部学長が就任したことなどが最近の動きとして挙げられます。当同窓会としてもこれらの動きを支えていきたいので、これからも皆様のご協力・ご参加・会費納入などお願いをしたいと思います。

(4) 来賓代表挨拶(長谷部学長)

本日は交流会の開催おめでとうございます。昭和 46 年の設立以来、大学に熱いご支援をして頂き誠に感謝申し上げます。私は国際交流、特に中国との交流に取り組んでいまして、その関係で 5 年ほど前に平山先生と上海交通大学を訪問しました。そこで非常に熱い歓迎を受けたことが記憶にあります。

私はこの 4 月から横浜国大の学長になりましたが、将来に向けて 3 つの事に重点をおきたいと思っています。1 つ目は国際化であります。発展の中心が欧米から中国やインドに移行しているグローバル新時代に着目した教育や研究を行いたいということです。2 つ目は文理融合です。私は経済学部の出身ですが、経済のあり方とイノベーションには密接な関係があると思います。是非とも交友を深めて横浜国大らしさを発揮したいと思います。3 つ目はグローバルな視点とローカルな視点を持った教育研究を進めたいということです。これは、開港以来国際化の影響を強く受けてきた一方で、様々な課題を抱える横浜・神奈川らしい点だと考えています。

これら 3 つの取組みを行う中で、卒業生と大学との連携はとても大切なことであります。短期留学や 1,2 週間の国際交流などは近年成果を上げていますが、これは、海外に住んでいる卒業生の皆様の大変熱い協力があったことです。今後とも大学へのご支援・ご協力どうぞよろしくお願い致します。

- (5) 平成 26 年度活動報告と会計報告及び教室支援基金会計報告が竹川理事、平成 26 年度会計監査報告及び平成 26 年度教室支援基金監査報告が齋藤監事より行われ、承認を頂きました。
- (6) 体験・意見集「知恵の泉」の第 3 号の取り組み経過報告と今後の予定が齋藤監事から行われました。現在は第 3 号の募集がほぼ終わった段階であること、概ね第 2 号で投稿して頂いた方々から原稿を頂いたこと、平成 27 年度の会報と併せて CD 版を配布すること、投稿された方と別途希望された方には冊子版を進呈する、等が報告されました。
- (7) 平成 27 年度活動計画及び予算案が竹川理事から、会則変更(「学生会員」を追加する件)及び平成 27 年度役員人事が平山会長より提案されました。副会長は角洋一名誉教授が留任、総務担当理事は加戸正治氏・竹川正夫氏が留任、白木東氏が退任、松村純一氏が新任、教室代表理事は教室主任の交代により日野教授が新任、荒井教授が退任、監事は齋藤監事、庄司監事共に留任、との提案がなされ承認されました。
- (8) 教室の近況及び弘陵賞推薦報告が日野教室代表理事より行われました。

大学全体としては、国立大学法人としての第 2 期中期目標・計画が今年度で終了することに伴い、現在第 3 期中期目標・計画を作成中であること。また、平成 29 年度を目処に学部の改組が予定されており、学科の編成にも変更が予想されること。大学院の改組は延期になり、翌年以降に予定されていることが報告されました。

教室関連では、昨年 11 月をもって和田大志先生が退職し、今年の 1 月からジャパンマリンユナイテッドより岡田哲男先生が教授に就任して頂いたこと、学内の研究組織として先端科学高等研究院が設立され、教室では荒井先生を代表としたプロジェクトが 1 つ進行中であることなどが報告されました。

学生関係では、今年 3 月に当教室を卒業した学生は学部で 40 人(うち進学 29 人)、修士は 32 人、博士は 2 人(共に留学生)であること、4 月に入学した学生は学部で 37 人(うち女子学生 10 人)、修士は 36 人であったことなどが報告されました。

報告の最後に、今年の弘陵賞が畑玲奈さん(卒業論文:「球形タンクのスロッシングについて」)に授与されたことが報告されました。

- (9) 会報第 55 号の目次について白木理事より説明がありました。

以上をもって弘陵造船航空会第 45 回総会は閉会しました。

5. パネル討論会 14:20~15:40

パネル討論会は司会の庄司邦昭氏(昭 45 年卒)による女性パネラー紹介で始まりました。パネラーは宮崎恵子氏(昭 62 年卒)、荒見未紀氏(平 2 年卒)、土屋美和氏(平 2 年卒)、藪祐美子氏(平 4 年卒)、長瀬栄氏(平 4 年卒)、南真紀子氏(平 8 年卒)、松田郁未氏(平 19 年卒)、安藤智子氏(平 20 年卒)の総勢 8 人で、“理系女子の先駆けが語る未来”と題したパネル討論会が行われました。社会で働く女性の力強さを感じるとてもためになるお話をいただきました。

6. 懇親会(親睦会) 16:20 ~ 18:00

懇親会は総会と同じ会場で行われました。懇親会に先立ち、15:40 ~ 16:20 の間、平川嘉昭先生(平 11 卒)のお世話による水槽見学会と本学学生バンドによるジャズ演奏が行われました。また、懇親会場に会員の写真が展示されました。出展者は、深瀬彊氏(昭 35 年卒)、右近良孝氏(昭 44 年卒)です。(懇親

会は 16:20 に福富洋志工学研究院長および井上誠一名教自然会代表の来賓挨拶で開会し、小野龍太本会相談役(昭 38 年卒)のご発声で乾杯を行いました。)懇親会では料理、飲み物、歓談などをおよそ 2 時間楽しみ、相互の親睦を深めました。最後に学生歌を全員で斉唱したあと、斉藤敏郎氏(昭 44 年卒)による一本締めで懇親会を中締めとし、全員で記念撮影をしました。

総会幹事団としては、平山会長をはじめ役員の方々から多大なご支援をいただき、何とか総会・パネル討論会・懇親会を無事に終わらせて、来年にタスキをつなげることができ、肩の荷を下ろすことができました。これからも本会の活動に微力ながら尽くしていきたいと考えています。



総会司会 (飯島さん)



平山会長開会挨拶



長谷部学長ご来賓挨拶



総会報告 (役員一同)



ご来賓の方々 パネルディスカッションご講評（長谷部学長）



懇親会開会の挨拶
（角副会長）

懇親会司会
（岩寄さん）

ご来賓挨拶
（福富工学研究院長）

ご来賓挨拶
（井上名教自然会代表）

乾杯の音頭
（小野相談役）



懇親会



学生歌合唱



全員での記念撮影



学生ジャズバンド



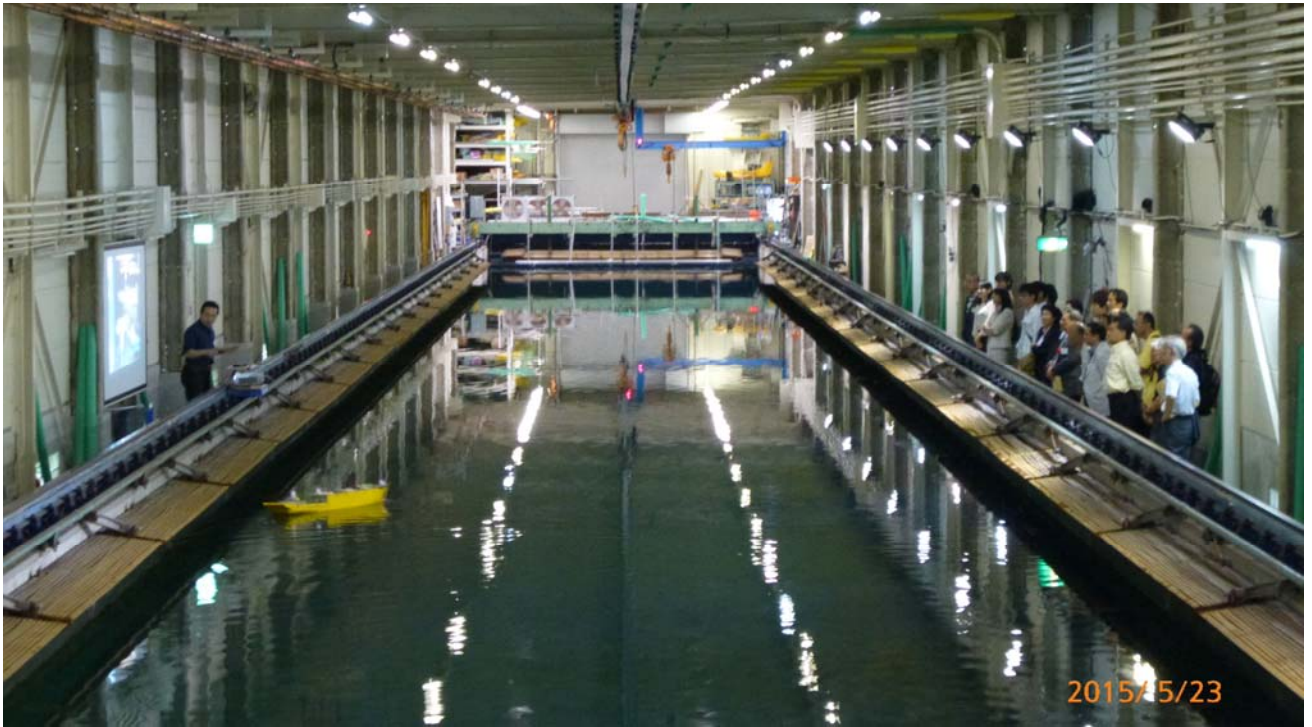
写真展示 (昭 44 卒 右近氏)



写真展示 (昭 35 卒 深瀬氏)



写真展示 (昭 35 卒 深瀬氏)



水槽見学会



水槽見学会